

2016年3月31日

英文誌「**Exploration Geophysics**」  
**Special Section "Marine Geophysics"**

近年、海洋エネルギー・金属資源の探査・開発に注目が集まっています。海洋油ガス田はもちろんのこと、メタンハイドレートや種々の海底金属資源（熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、マンガン団塊、レアアース泥など）などをターゲットとした物理探査が日本ならびに世界各国で実施されています。また二酸化炭素排出量削減策の一つとして、二酸化炭素の回収・貯留（CCS）の技術開発が進められており、日本では海底下への二酸化炭素貯留実証試験がスタート致します。加えて、海底下の巨大地震・津波・火山噴火のメカニズムの理解、およびこれらに伴う自然災害の見積もりのために、海洋での物理探査が盛んに実施されています。

そこで海洋における物理探査技術の紹介と、海洋調査の成果報告の場として、**Special Section "Marine Geophysics"**を企画致しました。浅海から深海まで、海洋調査に関わる諸技術、特にハードウェアの開発や改良、データ処理・解析技術の開発、新たな数値計算コードの開発など、最新技術を積極的に掲載させて頂きたく思っております。また海洋での物理探査のケーススタディーの紹介や、海洋調査に関連するフィージビリティ・スタディーなども歓迎致します。会員の皆様におかれましては、本 **Special Section** へのご投稿のほど、ぜひとも前向きにご検討いただけましたら幸いです。

<< 締切：2016年7月31日（予定） >>

※なお、本 **Special Section** への投稿に関しましては、投稿前に後藤編集委員（京都大学：下記）までご連絡頂きますよう、お願いいたします。

京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻

後藤 忠徳

goto.tadanori.8a@kyoto-u.ac.jp

Tadanori Goto